大阪市ごみ減量アクションプラン ～市民の行動メニュー～

ごみ減量のためにできること…… 買物をするとき

ステップ1

お出かけの時には エコバッグを携帯しましょう

お出かけの際はエコバッグを携帯し、レジ袋を使用しない生活を実践しましょう。

過剰な包装は断りましょう

中身を取り出せばすぐ不要になってしまう過剰包装を断りましょう。

詰め替え商品やコンパクト商品などを選びましょう

洗剤、シャンプーなどを購入する際には、詰め替え商品や濃縮されたコンパクト商品を選びましょう。

再生品を選びましょう

トイレットペーパーや文房具などを購入する際には、再生品を選びましょう。

ばら売りや量り売りの商品を選びましょう

野菜、果物、肉などを購入する際は、ばら売りや量り売りのものを選び、必要な量だけを買うようにしましょう。

ステップ2

使い捨て商品の使用を控えましょう

長く使えるものを選び、大切に使うことが、ごみを減らし環境にもやさしい生活につながります。

レンタル品や中古品を利用しましょう

ベビー用品や旅行用品など短期間しか使用しないものについては、できるだけレンタル品を利用しましょう。また、家具、衣類、家電製品などについては、リサイクルショップを利用する方法もあります。

ステップ3

エシカル消費を実践しましょう

環境への負荷が少ない商品を選んで買物したり、必要な食品を必要なときに必要な量だけ購入して食品ロスを減らしたり、ごみの分別を徹底するなど、地球環境の現状や問題を意識した消費活動である、エシカル消費を実践しましょう。

■再生品を選ぶには、エコマーク、グリーンマークなどの「環境ラベル」を目印にしましょう。

エコマーク…商品の「生産」から「廃棄」にわたるライフスタイル全体を通じて、環境への負担が少なく、環境保全に役立つと認められた商品についています。

グリーンマーク…古紙を再生利用した商品（ノート、コピー用紙、トイレットペーパー等）についています。

牛乳パック再利用マーク（パックマーク）…牛乳パックを再生利用した商品（トイレットペーパー等）についています。

Rマーク…再生紙を使用した印刷物等についています。右の数字は古紙割合を表しています。

PETボトルリサイクル推奨マーク…使用済みのPETボトルからリサイクルされた商品（繊維、文房具等）についています。

ワンポイントコーナー

レジ袋削減に向け「エコバッグ、いつでもどこでも携帯を！」

大阪市では、プラスチックごみの削減に向け、事業者・市民団体とともに3者によるレジ袋削減に関する協定の締結や、大阪エコバッグ運動等の取組を実施し、全ての市民が急な買物の時も含めてレジ袋を使用することのないよう、エコバッグを常に携帯する運動の拡大をめざした取組を進めています。

ごみ減量のためにできること…… くらしのなかで

ステップ 1

食べ残しをしないようにしましょう

食事を作りすぎたり、注文しすぎたりしないように注意し、食べ残しをしないようにしましょう。

こわれたときは修理をして、長期間使うようにしましょう

家具などがこわれたときには、できるだけ修理をして、長期間使うようにしましょう。

ステップ 2

食品の品質や期限表示をこまめにチェックしましょう

商品を購入した後は、冷蔵庫や食品棚の食品の品質や賞味・消費期限などをこまめにチェックして、無駄なく使い切るようにしましょう。

ステップ 3

生ごみの減量に取り組みましょう

野菜などの食材は、できるだけ無駄なく使い切るように心がけ、生ごみの発生を減らしましょう。

地域や学校などで、ごみの減量活動に取り組みましょう

ガレージセールの開催や資源物の集団回収など、地域や学校などでごみの減量活動に取り組みましょう。

ごみ減量のためにできること…… いらなくなったものを活かすために

空き缶・空きびん・ペットボトル・金属製の生活用品・スプレー缶・カセットボンベ類は、資源ごみ収集に出しましょう。

※12ページをご参照ください。

新聞・段ボール・紙パック・雑誌などの古紙や衣類は、地域のコミュニティ回収や資源集団回収または古紙・衣類収集に出しましょう。

※7、12ページをご参照ください。

商品を包んだりしていたプラスチック製の容器や包装は、容器包装プラスチック収集に出しましょう。

※11ページをご参照ください。

蛍光灯や水銀体温計、インクジェットカートリッジなどは拠点回収をご活用ください。

※14ページをご参照ください。

食品トレイなどは、販売店などの店頭回収に出しましょう。

回収された食品トレイは、再生トレイやプラスチック製品（ビデオテープ、ハンガーなど）に再生利用されます。

まだ使えるものは、必要としている人に譲りましょう。

ベビー服、子ども服、家具など、まだ使えるものは、知り合いに譲ったり、ガレージセールやリサイクルショップを利用して必要としている人に譲りましょう。

充電式電池は、販売店回収または、受付回収をご活用ください。

※14ページをご参照ください。